

# 関節鏡下前十字靭帯再建（前十字靭帯損傷）患者さんパスシート(No.1)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/
経過	入院日(手術前日)
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 手術の物品を準備しましょう。</li> <li>2) 手術について理解しましょう。</li> <li>3) 麻酔について理解しましょう。</li> <li>4) 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。</li> </ol>
薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に10日分までお持ちください。</li> <li>・医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。</li> </ul> 
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13時から15時の間に麻酔科の診察があります。</li> </ul>
処置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 弾性ストッキングのサイズを測ります。</li> <li>2) 手術する足の切毛を行います。</li> <li>3) 膝の装具のサイズ合わせがあります。</li> </ol>
観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術部位と全身状態の観察を行います。</li> <li>・症状が出現したり悪化した場合看護師に伝えてください。</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限はありません。</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限はありません。</li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21時から食べられません。</li> <li>・24時から水分を飲みません。</li> </ul> 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャワー浴が可能です。</li> </ul>
説明指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 咳や熱などの感冒症状がある場合は看護師にお知らせください。</li> <li>2) 看護師より手術前後の処置や必要な物品、手術の流れ、腓骨神経麻痺の予防について説明があります。(別紙1参照)</li> <li>3) 看護師より転倒・転落の危険性、予防方法についての説明があります。</li> <li>4) 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔についての説明があります。</li> <li>5) 手術に使用するバスタオル1枚、T字帯1枚をお預かり致します。バスタオル、T字帯にはお名前を記入して頂くようお願いいたします。</li> </ol>

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2019年8月改定

# 関節鏡下前十字靭帯再建（前十字靭帯損傷） 患者さんパスシート(No.2)

氏名	
----	--

診療科名	整形外科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	手術当日(手術前)
達成目標	1) 不安点は看護師に伝えるようにしましょう。 2) 術前の禁飲食を守りましょう。 3) 転倒・転落に注意しましょう
薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。</li> </ul>
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10時以降に手術開始予定の場合は、手術室に行く前に点滴を行います。</li> </ul>
処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深部静脈血栓症予防のため、ストッキングを履いて手術室に向かいます。</li> </ul>
観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術部位と全身の状態観察をします。</li> <li>何か症状が出現したり悪化したりした場合、看護師や医師に伝えてください。</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限はありません。</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限はありません。</li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁飲食となります。</li> </ul>
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗面、歯磨きは行うことができます。</li> </ul>
説明指導	1) 手術室に向かう前に、浴衣に着替え、深部静脈血栓症予防のストッキングを履きます。 2) 貴重品は金庫に入れるか、ご家族か看護師に預けてください。 3) ご家族の待機場所について説明させていただきます。



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2019年8月改定

# 関節鏡下前十字靭帯再建（前十字靭帯損傷）患者さんパスシート(No.3)

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日


月日	/	
経過	手術当日(手術後)	
達成目標	1) みが強い場合には看護師に伝えるようにしましょう。 2) 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう	
薬	・手術後、薬は基本的に飲みません。翌日から内服が開始になります。	
検査	1) 手術翌日の朝まで点滴を行います。 2) 酸素マスクをつけます。 3) 手術終了後、レントゲン撮影と採血があります。	
処置	1) 深部静脈血栓症の予防のため、ストッキングは手術後も継続して履きます。 2) 深部静脈血栓症の予防のため足にマッサージの機械を付けます。 3) 手術した方の膝を冷却します。(アイシングシステムを使用)	
観察	・血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について決められた時間まで1時間毎に観察させていただきます。	
排泄	1) ベッドで安静にしますが、30°まで体を起こすことができます。 2) 左右に体の向きを変えることができます。看護師が介助します。	
活動	・顔を拭く、口の中をきれいにするお手伝いをします。	
食事	・基本禁飲食となります。 ・酸素マスクが外れ、腸がしっかり動いていることを看護師が確認し、水分を摂ることができます。	
清潔	・顔を拭く、口の中をきれいにするお手伝いをします。	
説明指導	<p>1) ベッドにいる時は足マッサージの機械を常時、手術しない側の足に装着します。</p> <p>2) 腓骨神経麻痺の予防のため、腓骨頭(膝の外側にある突起)を圧迫しない様に注意しましょう。拳上用枕から患肢が落ちた場合は看護師に伝えましょう。 また、足首にしびれや違和感、動かしにくさを感じた場合はすぐに看護師に伝えましょう。</p> <p>3) 血栓予防のため、手術しない側の足首の運動を行いましょう。</p> <p>4) 看護師より転倒・転落の危険性、予防方法の説明があります。</p> <p>3) 手術後は痛みなどの症状に対し、お薬を使用します。 ご遠慮なくお伝えください。</p>	 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2019年8月改定

# 関節鏡下前十字靭帯再建（前十字靭帯損傷）患者さんパスシート(No.4)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/	/
経過	術後1日目	術後2日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドから立ち上がる練習を看護師と一緒に始めましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟での歩行訓練を行いましょう。</li> </ul>
薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 転倒に注意しましょう。</li> <li>2) 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。</li> </ul>	
薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 食事が開始となると、元々内服していた薬が再開となります。</li> <li>2) 痛み止めの内服薬が処方されます。痛み止めは痛みの状態に合わせて内服します。</li> </ul>	
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝看護師が採血に伺います。</li> </ul>	
処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 食事がしっかり摂取できたら抗生物質の点滴のみになります。</li> <li>2) 手術した方の足は装具を装着します。</li> <li>3) 車椅子に乗ることができたらお小水の管を抜きます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医師が傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。</li> </ul>
観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察させていただきます。</li> </ul>	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子に乗ることができたら車椅子でトイレに行くことができます。</li> </ul>	
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 車椅子へ移動する練習をします。</li> <li>2) 病室で立ち上がり訓練を開始します。</li> <li>3) 装具の着脱の練習をします。</li> </ul>	
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術前と同じ食事が開始になります。</li> </ul>	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を拭くお手伝いをします。</li> </ul>	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 痛み止めや抗凝固薬の内服方法について看護師が説明します。</li> <li>2) 看護師より転倒・転落の危険性、予防方法についての説明があります。</li> <li>3) 血栓予防のストッキングやフットポンプは主治医の許可がでるまでは装着します。</li> </ul>	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2019年8月改定

# 関節鏡下前十字靭帯再建（前十字靭帯損傷）患者さんパスシート(No.5)

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/		/	
経過	術後3日目		術後4～8日目（退院日）	
達成目標	1) 病室でのリハビリを行いました。 2) 倒に注意しましょう。		1) 病棟でのリハビリをしましょう。 2) 転倒に注意しましょう。 3) 退院後の生活をイメージしてみましょう。	
	・痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう			
薬	1) 食事が開始となると、元々内服していた薬が再開となります。 2) 痛み止めの内服薬が処方されます。痛み止めは痛みの状態に合わせて内服します。			
検査			・術後 7 日目にレントゲン撮影を行います。	
処置	・傷の状態に応じて必要時消毒を行います。		・傷の状態に応じて、必要時消毒を行います。 ・退院後外来で抜糸を行います。	
観察	・血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察させていただきます。			
排泄	・車椅子か松葉杖を使用してトイレに行くことができます。			
活動	1) CPM を行います(持続的他動運動器具を装着)。 2) 病棟で歩く練習を行います。 3) 主治医の許可が出たら荷重をかけた歩行リハビリを開始します。 4) 歩行状態や痛みに合わせて松葉杖を使用していきます。			
食事	・制限はありません。			
清潔	・医師の許可が出るとシャワー浴が可能となります。			
説明指導	1) 退院後の外来診察日について説明します。 2) 退院後の生活の注意点について看護師より説明させていただきます。 3) 保険などの書類は退院日に本館1階Aブロックの受付窓口に提出してください。 (受付窓口は平日、土曜のみ利用可能です。)			



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2019年8月改定



## 整形外科で手術を受ける患者さんへ

術後に足が動かせない状態で、腓骨頭(足の外側の出っ張った骨の部分)が圧迫されると足がしびれて動かなくなり、麻痺が起こる可能性があります。以下の症状が出現した場合はすぐに看護師にお知らせください。

①今までしびれがなかったのに足がしびれる。

②足首や足の指が自分の力で上下に動かせなくなる。

- ・術後は膝が天井を向いているようにしましょう。
- ・装具や枕、外転枕のバンドが腓骨小頭に当たらないようにし圧迫されている場合は看護師にお知らせください。

